

## 全国植樹祭 基本構想について

### 1 基本構想とは

基本構想は、全国植樹祭の開催理念や開催候補地、開催規模に加え、式典・植樹行事など開催に向けた基本的な考え方を定めるもの。

(今後策定する、より具体的な「基本計画」「実施計画」を作成するための指針)

### 2 基本構想の構成（岡山県の事例）

#### 第1章 はじめに

- 1 基本構想策定の趣旨
- 2 全国植樹祭とは
- 3 岡山県における全国植樹祭の開催状況

#### 第2章 開催方針

- 1 **開催理念**                    ⇨ 基本構想の中で具体的に記載
- 2 岡山県の特徴を生かした大会の基本方針
- 3 大会テーマ
- 4 シンボルマーク・大会ポスター原画
- 5 **開催会場**                    ⇨ 基本構想の中で具体的に記載
- 6 **開催規模**                    ⇨ 基本構想の中で具体的に記載
- 7 開催時期
- 8 企業協賛等

#### 第3章 式典行事

- 1 基本的な考え方
- 2 式典構成
- 3 式典運営

#### 第4章 植樹行事

- 1 基本的な考え方
- 2 お手植え・お手播き
- 3 記念植樹

#### 第5章 会場整備等

- 1 基本的な考え方
- 2 会場整備
- 3 交通・宿泊等

#### 第6章 記念事業等

- 1 基本的な考え方
- 2 記念事業
- 3 関連事業
- 4 広報活動

#### 第7章 運営方針等

- 1 基本的な考え方
- 2 実施組織
- 3 開催準備スケジュール(想定)

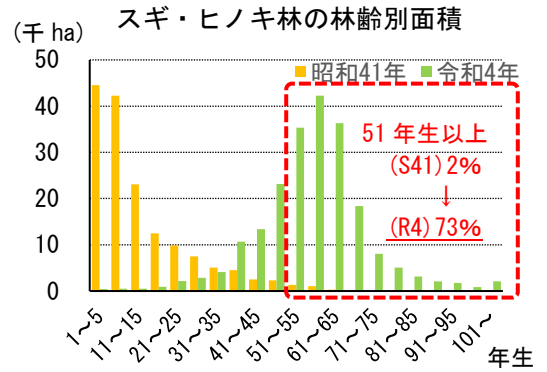
詳細は、基本計画、実施計画で記載

開催年度	開催県	基本構想の「開催理念」の内容
3	島根県	<p>本県は、県土の約8割を森林が占める全国有数の森林県です(森林率：全国第4位)。本県では、古くは、「たたら製鉄」で使用する木炭生産を繰り返すため、森林の循環利用が成立していました。戦後、積極的に造成された人工林が利用期を迎えつつある今、生産される木材を暮らしの中で積極的に利用するとともに、伐採後の森林を適切に更新することが重要な課題となっています。本県で開催する全国植樹祭では、こうした<u>新たな緑の循環を進める決意を全国にアピール</u>します。</p> <p>また、全国植樹祭の開催を通じて、<u>森林や林業の役割を再認識</u>するとともに、<u>県民参加の森林づくりを拡大</u>する契機とします。</p> <p>併せて、本県の豊かな自然や人々の営みが創り上げてきた文化(古代神話、「出雲大社造営」や「たたら製鉄」における木材利用等)など、<u>本県の特徴や魅力を全国に発信</u>します。</p>
4	滋賀県	<p>私たちは、ふるさと滋賀の地域特性である「森－川－里－湖」のつながりと、いにしえより培われてきた「<u>森林</u>」、「<u>びわ湖</u>」、「<u>人(暮らし)</u>」の<u>かわりを再確認</u>し、将来を見据えながら森林を守り、活かし、これらの取組を支えることで、<u>碧(あお)く輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を、次の世代、その次の世代へと持続的につないでいきます。</u></p>
5	岩手県	<p>(1) <u>県民総参加による森林づくりと、森林資源の循環利用</u>を推進します。</p> <p>(2) 森林の恩恵を県内外にアピールし、<u>健全で豊かな森林を次の世代へ引き継いでいきます。</u></p> <p>(3) 世代を越え県を越え全国の皆さんが参加できる植樹祭にします。</p> <p>(4) 感謝の気持ちを込めて<u>東日本大震災津波からの復旧・復興の姿を国内外へ発信</u>します。</p>
6	岡山県	<p>私たちは、第74回全国植樹祭の開催を通じて、「<u>豊富な森林資源の循環利用</u>」を進めるとともに、<u>森林の持つ公益的機能の確保</u>に努めます。</p> <p>また、県民一人ひとりのさらなる緑化意識の向上を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、<u>緑あふれる郷土を未来の子どもたちへつないでまいります。</u>併せて、<u>本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信</u>します。</p>
7	埼玉県	<p>○ <u>適切な森林の整備と森林資源の循環利用を推進</u>し、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮することで、森林・水・木材と私たちの暮らしや産業との結び付きを深め大切にしていきます。</p> <p>○ <u>豊かな川で繋がる山村と都市が、協力</u>して森林・みどりを共有の財産として守り育て、<u>元気な姿で未来の子供たちへ繋いでいきます。</u></p>

## 開催理念における想定されるキーワードの例

### 森林資源の循環利用による森林の適正な管理

- ・前回大会 (S41) 以降、スギ・ヒノキの人工林資源は大幅増
- ・現在では、50 年生以上のスギ・ヒノキが大半を占めており、今後は「伐って」「使って」「植えて」「育てる」森林資源を循環利用していく時代



### カーボンニュートラルに貢献する木材の需要拡大

- ・これまで木材があまり使われてこなかった中高層建築物や非住宅分野等への木材利用の拡大
- ・都市等における「第2の森」づくり (都市等への炭素貯蔵)
- ・CLT (直交集成板) 等による飛躍的な木材需要の拡大



県産 CLT が使用された 11 階建て純木造ビル

### 災害に強い森づくり

- ・自然災害が頻発する中、国民の安心・安全な生活を支える「災害に強い森づくり」への機運醸成



適切に手入れされた健全な森林

### 魅力ある林業の振興・新たな山村価値の創造

- ・森林や木材産業、山村地域を支える魅力ある林業の振興
- ・森林空間を生かしたアウトドア活動やワーケーションなど、新たなニーズに対応した新たな山村価値の創造



収益性の高い魅力ある林業



森林でのアウトドア活動(えひめ森林公園)

### SDGs への貢献

- ・SDGs の複数の目標達成に貢献する森林・林業

<<SDGs の目標達成の例>>

- 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに：木質バイオマス発電
- 11 住み続けられる街づくり：都市緑化、木造建築による炭素貯蔵、国土保全
- 13 気候変動に具体的な対策を：森林の吸収源対策
- 14 海の豊かさを守ろう：森は海の恋人
- 15 陸の豊かさを守ろう：森林整備や木材生産、生物多様性保全 等

～SDGs の目標と森林の循環利用の関係～

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに 食料の持続可能な生産	3 すべての人に健康と福祉を 健康増進	4 質の高い教育をみんなに 森林環境教育	5 ジェンダー平等を 実現しよう 林業女子
6 安全な水とトイレを世界中に 水源涵養	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 環境にやさしい建築・発電	8 働きがいも経済成長も 雇用創出	9 産業と技術革新の基礎をつくる スマート林業 建築部材開発	10 人や国の不平等を なくそう
11 住み続けられるまちづくりを 地方創生 国土保全	12 つくる責任 使う責任 合法木材 持続可能な産業	13 気候変動に具体的な対策を 炭素貯蔵	14 海の豊かさを守ろう “森は海の恋人”	15 陸の豊かさを守ろう “伐って、使って、植える” 生物多様性
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう 関係機関との連携 による森林の持続可能性の確保			